

# (公財)横浜市資源循環公社 職員紹介

公社事業は多岐に渡り、様々な業務を担当します。

## 竹中 信人

2016年 入社

これまでの配属先

2016年～総務課企画係

2018年～神明台処分地管理事務所

### 担当業務

入社後、総務課企画係へ配属され、主に3R推進・市民への啓発事業を担当しました。その後、神明台処分地管理事務所へ配属され3年目を迎えます。

神明台処分地管理事務所の業務は、埋め立てが終了した廃棄物最終処分場の管理です。具体的な業務内容としては、一般事務、現場職員の労務管理、草木管理の作業計画の立案から実際の現場作業の管理・監督まで行います。重機を使用した作業も行います！

また、処分地内には市民が利用できるスポーツ施設があり、利用受付やグラウンド整備等も行っています。この施設では1年に1回、地域住民の方と協働でイベントも開催しています！

当公社は、廃棄物行政の一翼を担う責任とやりがいを感じることができ、意欲があれば様々なことにチャレンジをさせてくれます。チャレンジ精神、業務改善意欲、創造力が溢れる方の応募をお待ちしています。



## 福井 舞佳

2018年 入社

これまでの配属先

2018年～総務課企画係

2020年～総務課

### 担当業務

入社以来、啓発事業・広報・発展途上国への技術支援等を担当しています。担当業務が幅広いため、効率的にスピード感を持って業務を進めていくことが求められます。啓発事業では主に小学校への出前講座や他団体と協働で行うイベントの企画・運営をしています。今年度当初は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で対面の啓発が思うようにできませんでした。そこでオンライン講座・応募型の啓発を企画・実施しています。

発展途上国への技術支援では、アフリカ諸国の研修員を受け入れています。研修員が横浜市の廃棄物に関する知識や技術を習得し、自国の廃棄物管理の改善に繋がる効果的な研修になるよう、携わるチーム全員が一丸となって取り組んでいます。3週間という短い研修期間ですが、お互いを尊重し信頼できる良い関係を築くことができ、研修員が自国に戻った後も、お互いの近況を報告し合っています。

★写真は、2019年11月にトーゴ共和国から来日したボバさんです！

業務によって求められるスキルは違いますが、常に向上心を持って、変わりゆく情勢に合わせて柔軟に対応できる方をお待ちしております！



## 川添 恵里奈

2020年 入社

これまでの配属先

2020年～総務課

### 担当業務

入社後総務課に配属され経理業務を担当しています。

主な業務内容は随時発生する全事業所分の取引内容などを記した伝票と、会社へ送られてくる請求書等を照合し、会計処理に誤りがないかチェックしたり、消耗品や備品の発注・管理等を行っています。また、部分的ではありますが予算管理や決算業務にも携わらせて頂いております。簿記の知識や経理業務経験が全くない中での配属でしたので、まだ1年目で経験の浅い私には分からないことも多く、よく質問や相談をしています。その度に私でも理解出来る様に上司や先輩の方々が豊富な知識と経験から丁寧にアドバイスを下さるので、安心して仕事に取り組む事が出来ています。ルーティン作業も多いですが、数値を間違えることは許されない為、緊張感をもって日々取り組んでいます。しかし、ヒューマンエラーはつきものの為、チェック体制を自分なりに構築したり、特にミスにつながってしまいがちな作業についてはやり方を変えたりして、工夫を怠らないようにしています。一つひとつの業務に責任感をもち、与えられるだけではなく自ら考えて業務に取り組む事で少しずつ前に進んでいます。

